

平成29年度 第2回家族のためのセミナー

第2回家族のためのセミナーを開催しました。

- 1 日 時 平成29年11月25日（土） 午後1時30分から午後4時まで
- 2 会 場 富山県総合教育センター（富山市高田525）
- 3 参加者 不登校児童生徒の家族
- 4 講 演 講師 埼玉県立大学 教授 東 宏行 先生
演題 「不登校の理解とかかわり方ー待ち方と促し方の実際ー」

講演の内容

- ・不登校の子供たちが学校に復帰することも大切であるが、自分で悩み歩み出すという社会的自立のための経験として、不登校を捉えていきたい。
- ・信用している人からの働きかけに効果がみられることから、不登校の原因や理由を知るより、まず、よい関係をつくるのが大切である。
- ・不登校の子供たちの心情は変化するので、その変化に合わせてたり不登校の期間や状況に応じたりした支援方法を行う必要がある。
- ・「待ちましょう」「見守りましょう」というのは、「何もしない」ことではない。生活刺激（できることの確認、家庭での役割等）、関係刺激（具体的な話しかけ、あいさつ、外出等）、段階的な登校刺激（学校関係者との接触、居場所づくり等）を行う機会を待つということである。そして、刺激や促しの後、本人に考える時間を与えるために、しばらく待つことを心がけるとよい。

参加者からは、「経験談も交えながら話していただき、子供への接し方の参考になりました」「先生が楽しくて、明るい気持ちになれました」などの感想がありました。

